

月日は百代の過客にして、行き

交ふ年もまた旅人なり。

船上に生涯を浮かべ、

馬の口とらゝて老いを迎ふる者は

日々旅にして旅を栖とす。

MEMO

松尾芭蕉

「おくのほそ道」

元禄文化期に活躍した俳人、松尾芭蕉の紀行。日本の古典における紀行作品の代表的存在。